



長野市議会

新友会だより



ごあいさつ



新友会 会長
寺沢さゆり

皆さま方におかれましては、日頃から新友会に対しまして、格別のご支援を賜り心から感謝申し上げます。令和6年10月から会派役員が新体制となり任期2年目をスタートいたしました。

私たちは、これまでの実績と経験を踏まえつつ、新たな視点やアイデアを取り入れ、子どもの福祉医療制度の窓口無料化や子どもの体験・学びの応援などの子育て支援、高齢者の社会参画の促進、地域経済・農業の振興、地域公共交通の再構築、脱炭素化の推進等の市政課題に対して、鋭意活動し長野市政のさらなる発展と市民の皆さまの安全で安心の暮らしにつながる活動となるよう、所属議員一致団結し全力で取り組んで参ります。

引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新友会 会長 寺沢さゆり

新友会活動報告

「長野市手話言語条例」の早期制定と予算確保を要望

手話に対する理解を深め、地域で生活する聴覚障害者が、手話による意思疎通や情報の取得ができる環境を整備するため手話言語条例の早期制定とそれに伴う予算確保について要望しました。



手話通訳を利用して議事を傍聴する様子

今後は、令和6年11月に実施したパブリックコメントを踏まえ、市民の皆様の意見を反映し、令和7年3月の市議会定例会に条例案が提出される予定です。

この条例を制定することで「手話は言語である」という認識を広げ、聴覚障害に対する理解を深め、聴覚障害者が安心して暮らすことができる長野市を目指して参ります。

勉強会の開催 ～ Society5.0時代の情報活用能力と教育～

昨年11月23日、講師に、文部科学省 学校DX戦略アドバイザーの竹中章勝先生をお招きし、Society5.0の理念やAIを活用した先進的な教育事例についてご講演いただきました。今回は、特に環境整備やAIの活用について焦点を当て、情報社会における教育の在り方を深く考える機会となりました。



勉強会の様子

その後の質疑応答では、情報格差やインフラ整備の課題、そして教育現場でのAIの具体的な活用方法について活発な意見交換が行われました。

本勉強会を通じて、教育分野における環境整備の重要性を改めて認識するとともに、AIを効果的に活用するための政策提案に向けた具体的なヒントを得ることができました。会派として、今後の政策立案に活かしていきたいと思っております。

令和7年度 予算編成に対する予算要望書を提出

新友会では、令和7年度の事業計画の策定と予算編成に対し、長野市全体の行政に係わることに加え、各地区の個別の課題を、各部局別に432項目にわたる「令和7年度予算編成に対する要望書」としてとりまとめ、令和6年11月5日、寺沢さゆり会長より荻原市長へ提出いたしました。



令和7年度予算要望の主な内容と、令和6年度予算要望で実現した主な事項については裏面をご覧ください。

国への要望活動を実施

新友会では、本市が進めている重点施策の実現に向けて、関係する省庁を訪問し、国の支援を要望する活動を継続して行っております。

要望内容は下記のとおりです。

令和6年7月4日実施

子ども家庭庁

●就学前教育・保育施設整備交付金の拡充

⇒保育所等の新設・修理等整備に要する交付金の増額に至りました

国土交通省

●長野駅前B-1地区市街地開発事業に対する支援

●都市計画道路の整備に対する支援

農林水産省

●畑地化促進事業の拡充

●農地利用効率化等支援交付金で支援対象となる汎用性機械の基準の明確化



農林水産省への要望

文部科学省

●小中学校の閉校による経費負担への支援

厚生労働省

●加齢性難聴者への補聴器購入に対する公的補助制度の創設

令和6年12月23日実施

文部科学省

●学校施設環境改善交付金の交付額算定の見直し

子ども家庭庁

●こども誰でも通園制度の各自治体の実施状況に応じた補助金の充実

農林水産省

●農振除外の厳格化に伴う影響緩和措置の現実的運用

林野庁

●地域産材の活用や森林・林業の普及啓発に関する国レベルでの広報の充実

国土交通省

●第82回国民スポーツ大会の施設整備に対する継続支援

●一般国道18号線長野東バイパスの立体化整備の促進

●(仮称)若穂スマートイン

ターチェンジの整備促進及び周辺アクセス道路整備の重点支援

●信濃川水系河川整備計画に基づいた堤防整備の更なる事業促進

●長野駅前B-1地区市街地開発事業に対する支援



国土交通省への要望

新友会は、市民の皆さまのご意見をお待ちしております。ご遠慮なく、下記にご連絡ください。

●発行所：長野市議会 新友会 〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地 長野市役所第一庁舎 7F

●発行責任者：寺沢さゆり TEL.026-226-4911 (内線 3931) FAX.026-229-6386

ホームページ：https://shinyukai-nagano.com/ E-mail：shinyu@mx1.avis.ne.jp

長野市議会 新友会 🔍検索



総務部会

後列左より
市川和彦 松田光平 手塚秀樹
前列左より
若林 祥 箱山正一



令和7年度予算要望の主な内容

- 【総務関係】**
市職員に対するハラスメント防止に向けた有効な対策を講じ、必要に応じて実態調査を行うなど、人権が守られる職場づくりに努めること。
- 【企画政策関係】**
市民の移動手段を確保するため、さらに自家用車に依存せず環境負荷の少ない暮らしに転換するため、住民自治協議会と協働し、生活バス路線の維持及び交通空白地帯・交通不便地帯におけるバス等の運行の充実を図ること。
- 【財政関係】**
国に対して長期化する物価高騰対策、医療・介護等の社会保障、施設の長寿命化や防災・減災対策、雇用の確保、人件費の増加など喫緊の財政需要を的確に地方財政計画に反映させ、一般財源総額を確保するよう引き続き強く働きかけていくこと。
- 【地域・市民生活関係】**
やまざと振興計画、過疎地域持続的発展計画等を積極的に推進するとともに中山間地域に対する新たな支援策を検討し、地域活力の低下しつつある中山間地域での生活や住民自治活動の維持につながる仕組みづくりに取り組むこと。
- 【消防関係】**
自主防災組織を中心とした災害時における活動を強化するため、助成事業を活用した避難誘導に必要な防災器材の整備を促すほか、地域特性に応じた防災訓練や避難所運営訓練の実施に対する支援・指導を行うこと。

令和6年度予算要望で実現した主な事項

- 【総務関係】**
「ながの電子申請サービス」に関しては、令和6年11月末現在で130項目のオンライン申請が可能になっています（前年同月比43増）。また、オンライン申請は、戸籍謄本等の請求といった手数料が伴う手続や、妊娠の届出等の相談サービスの予約にも広がっています。
- 【企画政策関係】**
AI オンデマンドの運行について、これまでの信州新町地区に加え、中条地区でも始まりました。また、Suica機能がついた新「KURURU」の運用が令和7年2月1日から始まります。
- 【財政関係】**
令和6年度一般会計予算は、子どもたちの成長に向けた取組に174億円、地域経済の成長、新たな産業の創出に36億円、スポーツによるまちづくりに31億円、防災・減災対策に45億円が重点配分されるとともに、公共施設の長寿命化対策や農業振興、脱炭素に向けた取り組みなどにもしっかりと予算付けされました。



スマートフォンでのオンライン申請



令和6年度整備の高規格救急車

- 【地域・市民生活関係】**
インターネット上の誹謗中傷等の防止及び被害者支援策の推進については、広報ながのやラジオ放送、ホームページ等を活用した啓発等が実施され、相談支援体制の強化のため、専門の相談室が開設されました。
- 【消防関係】**
各車両の更新については、消防ポンプ自動車2台、高規格救急車2台、小型動力消防ポンプ付き積載車7台等が計画的に更新され、一部納入されました。また、屈折はしご車のオーバーホールを行い、遅滞なく稼働が図られました。

福祉環境部会

後列左より
本木 晋 小泉栄正
前列左より
寺沢さゆり 和田一成



令和7年度予算要望の主な内容

- 【保健福祉関係】**
①手話は言語であるとの認識に基づき、手話に対する理解を深め、地域で生活する聴覚障害者が、日常的に手話による意思疎通や情報の取得ができる環境を整備するため手話言語条例の早期制定に取り組むこと。
②子どもの福祉医療制度の窓口無料化により、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ること。
③加齢性難聴者の補聴器購入補助等、高齢者の社会参画を促すことを目的とした事業の充実を図ること。
- 【子ども・子育て関係】**
①こどもの権利条例について、議会と協力し本市独自の条例の制定に向けて取り組むこと。
②保育所等での使用済みおむつの処分については公立・私立の分け隔てなく、全市で実施するよう取り組むこと。
- 【環境関係】**
①第三次長野市環境基本計画に基づき、省エネルギーと再生可能エネルギー施策を推進するとともに、効果的な支援策に取り組むこと。
②広域連合で行う次期最終処分場の整備については、広域連合と連携しながら早期の候補地選定に努めること。

令和6年度予算要望で実現した主な事項

- 【保健福祉関係】**
①災害時に直接避難できる福祉避難所の確保が始まりました。また、確保した施設で、人工呼吸器を使っているお子さんの避難訓練が行われました。
②乳がん検診マンモグラフィ検査について、これまで40歳に限定していた医療機関での個別検診を今年度から40歳以上に拡大しました。また、集団検診では74歳までとなっていた受診年齢の上限が撤廃されました。
- 【子ども・子育て関係】**
①子どもの体験・学び支援事業（「みらいハッ！ケン」プロジェクト）について、今年度は1年を通した本格実施とし、子どもたちが体験・学びのプログラムを通じて自分の好きな活動を見つけ、自己肯定感を育みながら成長できる環境の整備が図られました。
②放課後子ども総合プラン事業において、令和6年度から「一般財団法人ながのこども財団」による運営が開始され、開館時間を延長する施設を増やすなど、利用者ニーズに応じた施設運営に取り組む、事業の一層の充実が図られました。



こどもプラザで放課後を過ごす子ども達の様子



海洋ごみ問題を考える出前授業の様子

また、事業活動に伴うCO₂排出量の算定に係る経費を補助する「温室効果ガス排出量見える化・削減支援事業補助金」が新たに創設されました。
②気候変動、生物多様性、自然エネルギーなど、様々な環境問題に対し、子どもたちの知識や理解を深め、自発的な環境保全活動に繋げるための学習会が実施されたほか、海洋ごみ問題に取り組まれている団体との協働により、ポイ捨てごみ等の影響による海洋ごみ問題を考えるプロギングイベントや小学生を対象とした出前授業を実施するなど、環境教育の体験型環境学習が推進されました。

経済文教部会

後列左より
桜井 篤 加藤英夫
前列左より
北沢哲也 宮崎治夫



令和7年度予算要望の主な内容

- 【経済産業振興関係】**
企業立地の実現に向けて、企業の意向等を踏まえた新たな産業用地開発や企業誘致活動に積極的に取り組み、産業立地ビジョンの目指す姿の実現に努めること。
- 【観光文化関係】**
北陸新幹線延伸に伴う観光、産業などにおける地域間の交流人口の動向に基づき、北陸3市とも連携を図る中で、京都・大阪・神戸など関西主要都市からの誘客を図り、併せて、観光客に対する情報提供などの機能拡充を図ること。
- 【スポーツ関係】**
長野県での開催が予定されている第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会に向けて、本市においても万全の準備体制を整えること。
競技会場については、必要に応じて計画的に長寿命化改修を実施し、新たな施設整備については、ユニバーサルデザイン、バリアフリーの視点や災害発生時の活用を踏まえた整備を行うこと。
- 【農林関係】**
市内産農産物のPR及び6次産業化など、マーケティングの強化・ブランド化対策を講ずること。特に、トップセールスやイベントを通じた情報発信により果樹産地としての認知を広めるとともに、販路開拓や消費拡大による農業経営の安定化を支援すること。さらに、長野市農産物の輸出について県や関係機関と連携し、輸出拡大について調査研究すること。
- 【教育関係】**
老朽化や劣化の激しい小中学校の校舎・体育館について、「長野市学校施設長寿命化計画」に基づき、必要に応じた改築や長寿命化改修を進めること。
特に、老朽化により臭気や漏水等が発生している小中学校のトイレについては、改築や長寿命化改修の中で、洋式化を含め、着実に改修を進めること。また、災害時には避難所にもなる学校体育館へのエアコン整備についても、早期に検討を進めること。

令和6年度予算要望で実現した主な事項

- 【経済産業振興関係】**
官民連携によるエムウェーブ南産業団地開発の造成工事がはじまりました。また、更なる産業用地整備を含め、企業立地に積極的に取り組むため、産業立地ビジョンが策定されました。
- 【観光文化関係】**
伝統芸能継承事業として、ながの獅子舞フェスティバルや伝統芸能こどもフェスティバルが開催されました。また、伝統芸能を後世に継承するための事業を行った団体に補助金が交付されました。
- 【スポーツ関係】**
エムウェーブのスケート滑走料について、本年より、市内の中学生以下を対象に、通年で 無料となりました。また、この無料開放に合わせ、「ながのアイススポーツデイ2024」が開催され、フィギュアスケート元オリンピック代表の小塚崇彦さんによるスケート教室等が行われました。
- 【農林関係】**
森林や林業への関心を高めるため、令和6年10月19日（土）に茶臼山自然植物園において、約2,500人の皆様が来場し、「ながの森林・林業フェア」が開催されました。
- 【教育関係】**
令和元年東日本台風災害の復興事業として昨年8月に開所した、豊野防災交流センターは、復興に向けた新たな拠点、防災機能の確保のほか、予約なしで利用できる交流ラウンジを配置し、生涯学習活動や住民交流の場など様々な活動が行える場として利用されています。



スケート教室の様子



「ながの森林・林業フェア」の様子

建設企業部会

後列左より
西沢利一 西脇かおる
前列左より
金沢敦志 青木敏明



令和7年度予算要望の主な内容

- 【建設関係】**
①気候変動に伴い頻発化・激甚化する水災害に対応するため、沿川住民の安全安心が確保のため、市が事業促進に積極的に協力し、着実な事業実施について国、県に強く働きかけること。
②（仮称）若穂スマートインターチェンジの着実な整備促進と、それに係る道路整備を図ること。
- 【都市整備関係】**
①都市計画道路の整備を推進し、都市内の円滑な道路交通と子どもたちの安全、安心な通学路、災害時における緊急避難路、交通渋滞を緩和する環状路線網を形成する幹線道路の整備を促進すること。また、都市計画道路見直しについては、まちづくりの視点から、都市計画道路整備計画と併せ検討し、計画的、効率的な整備に向け、地域住民を含む関係者への十分な周知を図り、進めること。
②県と共に立ち上げた研究会で実施したハード対策の効果がより発現するよう引続きソフト対策の検討を積極的に進めること。
さらに今後、予定されている五輪大橋無料化など渋滞解消効果が望める事業についても着実に推進すること。
- 【水道・下水道関係】**
水道水源の保全を図るため、関係機関と連携を強化するとともに、水源から蛇口までの水質管理体制の強化に努めること。
特に、川合新田水源において検出された有機フッ素化合物については、監視強化を継続するとともに、安全性を担保した効果的な取水方法等の対策を行うこと。

令和6年度予算要望で実現した主な事項

- 【建設関係】**
①長沼地区河川防災ステーションでは、施設整備に向けて地盤改良工事が着手されました。
②市営住宅返目団地24-2号棟で、エレベーターの設置や浴室・キッチンなどを改修し、居住水準を向上させる全面改善工事が進められています。
- 【都市整備関係】**
①ながのこども館「ながノビ！」は、旧少年科学センターで人気のあった展示物も承継し、昨年7月28日にオープンいたしました。
②犀川第二緑地において、広大な敷地を活かしたドッグランの整備が進められています。
- 【水道・下水道関係】**
①令和6年4月に「上田長野地域水道事業広域化協議会」が設立。上田駅前に協議会事務局が設置されました。将来の人口減少を踏まえ、安定的に安心・安全な水道水を供給するための協議等が進められています。
②下水道マンホール広告事業が開始されました。公共広告や企業広告など新たな活用が期待されます。



長沼地区河川防災ステーション状況



長野駅前でのマンホール広告設置の様子



ながのこども館「ながノビ！」の様子